

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年10月01日

計画の名称	茂原市における快適で魅力ある都市環境の形成													
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	茂原市													
計画の目標	公共下水道供用区域の拡大及び機能維持に向けて、経済的かつ効率的整備を図り、ゆとりと潤いに満ちた環境にやさしい魅力ある街づくりを進める。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		210	A	210	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H32末
1	三貫野第2幹線、東部台地区の下水道処理人口普及率を81.6%(H27)から100%(H32)に増加 下水道処理人口普及率を計算する。 下水道を利用できる人口(人)/東部台地区人口(人) 東部台地区 整備面積(16 ha 24 ha) 全24 ha	82%	100%	100%
2	川中島第3幹線、道表地区の下水道処理人口普及率を0.0%(H29)から60.0%(H32)に増加 下水道処理人口普及率を計算する。 下水道を利用できる人口(人)/道表地区人口(人) 道表地区 整備面積(0 ha 6.6 ha) 全11 ha	0%	20%	60%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	茂原市	直接	茂原市	管渠(汚水)	新設	三貫野第2幹線枝線整備(未普及解消)	200 L=59m	茂原市						9	-	
	A07-002	下水道	一般	茂原市	直接	茂原市	管渠(汚水)	新設	三貫野第2幹線枝線整備(未普及解消)	舗装本復旧 A=5,610㎡	茂原市							33	-
	A07-003	下水道	一般	茂原市	直接	茂原市	管渠(汚水)	新設	川中島第3幹線枝線整備(未普及解消)	200 L=550m	茂原市							160	-
	A07-004	下水道	一般	茂原市	直接	茂原市	管渠(汚水)	新設	川中島第3幹線枝線整備(未普及解消)	舗装本復旧 A=1,000㎡	茂原市							8	-
												小計						210	
												合計						210	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事後評価の実施時期

茂原市公共下水道事業の社会資本整備総合交付金事後評価実施要領

令和7年10月

公表の方法

市のウェブページに掲載

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

【指標1】 東部台地区において普及率の目標を達成し、汚水管整備により供用開始区域が拡大した。
【指標2】 予算減などによる道表地区における整備事業を先送りした。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

未普及対策について、引き続き未整備区域を整備していく必要があるが、当面は財政状況を確認しながら事業を進める。

